



平成27年7月

第54号

荒川区立南千住第二中学校

(題字:校長 齊藤 進)

ナンちゃん・ニーくん



職人技に学ぶ ～ あらかわの伝統技術展から ～

校長 齊藤 進

7月3日から5日まで、あらかわの伝統技術展が総合スポーツセンターで行われました。今年で4年目となりますが、本校では、1年生が地域学習の一環として南千住にある史跡文化財を巡るフィールドワークを行うとともに、伝統技術展を見学しています。毎年、見学するたびに職人の方々のワザに時間が経つのも忘れてうっとりしてしまいます。生徒も体験コーナーなどで、直接その作品や技術に触れるなど貴重な経験をしています。キャリア教育の観点からも中学生が職人の方々のワザにふれることは意義あることだと思います。

ここで、大田区の旋盤工であり直木賞候補作家となった小関智弘氏の含蓄ある言葉が印象に残っていますのでポイントを紹介いたします。

ワザを若い人達にどう伝えたか。OJT ON THE JOB TRAINING

「自分を超える職人を育てられない職人ではいけない」。だから科学技術が進歩してきた。

「自分の道具箱を見せたがらない人の道具箱はガラクタ」。なぜなら、見せたがらない内は進歩はないから。ありったけを伝えたとき、何を獲得するかを考え、それに向かっていく。だから、次のものを獲得できるし、進歩がある。

職人とは、ものをつくる手立てや道具をつくる工夫をする人である。

さらに

基準に合っているからよいとする人。

基準に合っているが、これでよいのかとと思っている人。よりよいものをつくろうとする人。

できあがったネジの山の美しさが違う。

本校が発行した「歩いて学ぼう南千住検定」でも職人の皆様にお世話になりました。今後も本校生徒に職人魂を伝授くだされば幸いです。



運動会

大接戦を制したのは白組！ わずか3点差！！

6月13日(土)、南千住第二中学校第27回運動会が行われました。梅雨入りで天候が心配されましたが、雨に見舞われることもなく、また、極端な暑さにもならず、絶好の運動会日和になりました。今年の運動会も色別対抗がメインです。事前に抽選で組み合わせが決められました。その抽選の結果、1年生は4クラスなので黄組に3組・4組の2クラスが割り当てられました。

開会式では、実行委員長(3年3組女子)の力強い選手宣誓が行われ、各色の応援旗を持って周りを囲んだ各クラスの実行委員も誇らしげな表情があふれました。また、吹奏楽部の校歌演奏とともに生徒会役員の手により校旗が掲揚され、晴れやかに空になびきました。

最初の演技はラジオ体操。今年も練習の成果が発揮され、全校生徒の息が合った、素晴らしい演技になりました。

午前の部は、男女の長距離走から始まりました。暑い中でしたがどの選手も力走し、全員が完走しました。つづいて色別対抗棒引きが行われました。棒引きは1,2,3年生から男女それぞれの選手が選ばれて競います。白熱した引き合いは女子が白組、男子は赤組が勝利しました。

その後、各学年の短距離走や、2年生,1年生の学年種目、3年生の全級リレーなどが行われました。2年生の学年種目は「ワッショイ！騎馬戦」。3クラスがけん制しながらの戦いになりましたが、勝ったのは2組(赤)でした。1年生の学年種目は「四輪ピック」。4つの輪を引っ張りながらくぐります。この勝負は2組(白)の作戦が功を奏し、圧勝しました。

午前の最後はPTA参加競技の「綱引き」が行われ、今年もたくさんの保護者・地域の方々が参加してくださいました。ありがとうございました。

午前の部を終えた段階では赤組が優勢。つづいて白組、少し離されて黄組と続いていました。

昼食後、各色の応援団が紹介され、競技が再開されました。午後のはじめは色別対抗綱引きでした。綱引きは男女とも黄組が圧勝し、午前中の巻き返しが始まりました。



力が入る色別対抗棒引き



1年生「四輪ピック」



2年生「ワッショイ騎馬戦」



3年生「大ムカデ」



しっかりそろった白組応援団

その後、1年、2年の全級リレー、3年生の学年種目「大ムカデ」と続きました。3年生の大ムカデはさすがの大迫力。息のあった足の運びで、これまた黄色の1組が1位を勝ち取りました。

さてここからは運動会の花形、選抜選手のリレーが続きました。まずは各クラス代表の学級対抗リレー。各学年の男女それぞれのリレーでした。勝ったり、負けたり、優勝争いは混沌としてきました。そして競技の最後を飾るのは、各色の精鋭を集めて行われた色別対抗リレーです。1年生女子、男子、2年生女子、男子、3年生女子、男子とバトンをつなぐ一本勝負です。得点配分も高く、優勝争いに大きく影響します。どの色も素晴らしい走りを見せましたが、1位は黄組、2位白組、3位赤組という結果になりました。結果はこのようでしたが、走り終えたどの色の代表選手にも満足感に満ちた表情が浮かんでいました。

全競技を終えた閉会式で、結果発表が行われました。実行委員(3年3組女子)の「優勝は……、白組！」の声に、白組からは大歓声が上がりました。2位の黄組との得点差はなんとわずか3点、さらに赤組とも8点差という大接戦でした。なお、学年対抗の部では、1年生3組、2年生2組、3年生2組がそれぞれ優勝しました。

結果発表の後、閉会式では毎年恒例となっている、吹奏楽部の演奏に合わせた全校生徒による校歌の大合唱で、運動会の幕はおろされました。

最終結果

赤組	6	2	5
白組	6	3	3
黄色組	6	3	0

レスキュー部

保育園合同避難訓練

6月30日(火)、南千住二中レスキュー部と近隣の保育園合同の避難訓練が行われました。この避難訓練は昨年度に続き2回目の実施となりました。参加した保育園は、昨年度も実施した南千住七丁目保育園と今年度初めて参加した南千住駅前のおひさま保育園の2園でした。

訓練の内容は、大きな地震が発生するなどして南千住二中が避難所になった場合、レスキュー部員が保育士さんと協力して園児を安全に避難所まで誘導し、保護者に引き渡すという想定です。この日は、有志のレスキュー部員39名が保育園まで園児を迎えに行き、南千住二中まで誘導しました。避難所に到着後は、園児に不安を与えないように、アリーナで折り紙やトランプ、ボール遊びなどをして遊ぶ工夫もしました。園児もすっかり部員に馴染み、いざという場合にも安心して保護者を待てると思います。

ここでもレスキュー部が活躍しています。



園児の手を引き



避難後は一緒に遊ぶ



部員は車道側を歩く気づかい

1年生・3年生 タブレットPC大活躍

校外学習(南千住地域学習)

7月3日(金)は1年生の校外学習でした。毎年1年生の校外学習は南千住地域の史跡や文化財めぐり、そしてその後の「あらかわの伝統技術展」見学です。今年も事前に班ごとにコースを決めて準備をしてきましたが、当日は残念ながら強い雨のため、地域めぐりは中止となりました。しかし南千住二中はそれでは終わりません。この校外学習では、3年生も史跡などに赴き1年生に説明をする計画でした。外に出られない状況のため、急ぎょ校内で史跡の紹介・説明を行いました。1、2階の教室やスペースを利用し、ワークショップ形式で、やってくる1年生に説明しました。1年生は3年生から説明を受けるとカラフルな「マイスターシール」をもらえます。3年生全部で42カ所。パネルを使ったり、タブレットPCなども駆使し、いろいろと工夫をして1年生に分かりやすく、楽しく説明してくれました。1年生も熱心にメモを取りながら学習しました。

3年生の説明に加え、荒川区教育委員会が教科書会社と共同で開発したタブレットPCを利用する「まちあるき」コンテンツも利用しました。このソフトは、ARコードを活用した画期的な取り組みで、南千住地区にある史跡の看板などにタブレットをかざすと、動画や昔の写真、説明文などが表示されるという優れものです。この日は現地に行くことができませんでしたが、写真でも反応するため、全20カ所のうち4カ所の写真を校内に掲示し、その写真にタブレットをかざし活用しました。都電三ノ輪橋駅では、昔の停留所の写真や動画が表示され、楽しみながら、より学習が深まりました。

校内での学習の後、1年生は「ふるさと文化館」に出かけました。ここでも荒川区の歴史や文化について詳しく学習することができました。さらに荒川スポーツセンターで行われている「あらかわの伝統技術展」を見学しました。会場のスポーツセンター3階ギャラリーで持参した弁当を食べてからの見学でした。今年の1年生も技術展に迷惑がからないように立派な態度でした。

技術展ではたくさんの職人さんから貴重なお話を伺うことができました。盛りだくさんの1日でしたが、1年生は南千住の史跡や文化財、そして歴史など、多くのことを学んだ実り多い1日でした。



工夫して説明してくれる3年生と熱心に聞く1年生



「ふるさと文化館」メモを取り学習



「伝統技術展」職人さんの技に感動

2年生

勤労留学

7月6日(月)から10日(金)までの5日間、2年生は勤労留学(職業体験学習)を行いました。2年生は、

2～5人程度のグループに分かれ、33カ所に及ぶ事業所にお世話になりました。事業所の職種もさまざま、保育園やふれあい館など小さな子どもにふれあう所、飲食店、ファストフード店、ヘアサロン、書店、銀行、パン工場、また、区役所、図書館、スポーツ施設などの公共機関、さらには病院、動物病院など多岐にわたりました。

2年生は事前に職業やマナーについて学習し、求人票を見て応募(希望)し、校内での面接を経て体験する事業所が決まり、体験前には事業所にごあいさつに出かけました。

初日は緊張と不安でいっぱいでしたが、事業所の皆さんに優しく、時に厳しく指導を受け、しだいに「仕事」の大変さや価値観、そして喜びを少しずつ感じ、大変多くのことを学ばせていただきました。パン工場では、実際に自分たちが成形したパンを焼かせていただいたり、飲食店では実際に接客したり、病院では白衣も着させてもらい、保育園では保育士さんと一緒に子どもの面倒を見たりと、大変な中にもやりがいを感じてきました。一方で、ずっと立って仕事をするのがこんなにも大変なんだと感じる生徒も多く、「自分の家族もこうして働いているんだ」と思いを新たにしました。

週の終わりになると、すっかり職業人らしくなり、事業所を離れるのが残念な気分にもなりましたが、仕事の大変さに疲れ切った生徒もいたようです。しかし、いつかは社会に出ることになります。その時のために、この1週間が大きな意味をもつ経験になったことは間違いありません。

お世話になった事業所の皆さん本当にありがとうございました。



保育園



動物病院



ファストフード店



病院



中華料理店



パン工場



図書館

部活動の活躍

運動部、夏季大会で活躍!

運動部は3年生にとって最後の公式大会でした。3年間の練習の成果がしっかりと出せた大会になりました。陸上競技部、ソフトテニス部は都大会があります。祈!健闘!!

《陸上競技部》東京都中学校選手権・総合体育大会

共通男子走り高跳び 2年2組男子 記録 1m63cm **標準記録突破 通信大会進出**
共通女子走り高跳び 2年3組女子 記録 1m45cm **標準記録突破 通信大会進出**

《ソフトテニス部》荒川区夏季選手権大会 兼 荒川区中学校総合体育大会

女子 個人戦 3年1組女子、3年2組女子 ペア **優勝 都大会出場**
3年1組女子、3年2組女子 ペア **第3位**
女子 団体戦 **第3位** 男子 団体戦 **第5位 都大会出場**

《サッカー部》第5ブロック夏季選手権大会出場

《バスケットボール部》荒川区夏季選手権・総合体育大会 女子 **第3位**

《バレーボール部》荒川区夏季選手権・総合体育大会 女子 **準優勝** 第5ブロック大会出場

《パソコン部》第15回毎日パソコン入力コンクール6月大会

第5部和文A中学生部門入賞

3年1組男子3名、3年3組男子2名・女子1名、
2年2組男子1名、女子2名、2年3組男子2名・女子1名、1年3組女子1名

第2部ローマ字部門入賞

1年1組男子3名・女子1名、1年2組男子1名、1年3組男子4名・女子2名、
1年4組男子1名

南千住マスターのコーナー

反対に隅田川で一番最近まで利用されていた渡しが「汐入の渡し」です。南千住地域には大きな紡績工場がありました。現・南千住八丁目には「東京紡績橋場工場」がありました。東京紡績は尼崎紡績と合併し、大日本紡績として時を経て現在のユニチカとなりました。そして対岸には「鐘淵かねがむら紡績会社」がありました。そう、あの「カネボウ」です。汐入の渡しは、1967(昭和42)年まで、汐入と対岸の鐘淵紡績会社を結び、工員さんたちの通勤用として運行されてきました。南千住は、明治から昭和にかけて、近代工業発展の地でもあり、日本の大きな紡績会社にとっては、そのスタートの地でもあったのです。

隅田川には江戸時代から多くの「渡し」がありました。徳川家康が江戸に入ってから、江戸の町は大きく発展しました。市街地を南北に分断する隅田川でしたが、防備上の理由から橋を架けることは制限されていました。そこで人々が利用するのが「渡し」です。特に南千住地域にはたくさんありました。下流から現・白髭橋のあたりに「橋場の渡し」、水神大橋あたりに「水神の渡し」、汐入大橋には「汐入の渡し」、そして千住大橋架橋とともに姿を消したとされる「渡裸」の渡しと続きます。



南千住の交通と産業 その4
『隅田川の渡しと紡績工場』

隅田川最後の渡し
汐入の渡し